

## 基本計画素案(3・4章)に対する委員意見への対応及びその他の修正

章	項(施策分野)	委員意見		担当課
		検討を要する意見	対応	
3. 生活環境の整備 (環境、安全・安心)	2. 循環型社会の推進 (循環型社会)	現況と課題の3点目の文章表現(「施設稼働率が低下」がごみを減らさない方が良く受け取れる)は適切なものか。	文章の見直しを行い「ごみ焼却量の減少に伴いごみ焼却施設に余力が生じていることから、区域外のごみを受入れるなど施設の有効活用について検討する必要があります。」に修正しました。	清掃センター
		指標「ごみ処理状況」の『計画収集量』という言葉は『収集量』とした方が一般市民は分かりやすいのではないか。	本指標は、市が収集するごみのほか、施設に直接持ち込まれるごみを含め、搬入されるごみはすべて処理を行うとする目標指標であり、一般市民にもわかりやすい表現とすることから「計画収集量」を「ごみ搬入量」に修正しました。	
	3. 消防・救急体制の強化 (消防・救急体制)	「応急手当実施率」を設定するなら「AEDの市内設置個数」を目標指標に設定できないか。	AEDの設置個数については、市有施設の設置状況は把握できるものの、民間企業等の設置状況は把握ができないため、目標指標に設定することは困難であると考えます。 なお、応急手当実施率については、今後も救急講習会等を通じて、AEDの使用方法を含めた応急手当の更なる普及啓発、実施率の向上に努め、消防・救急医療体制の向上を図ります。	警防課
	4. 防災・減災対策の推進 (防災・減災)	<p>&lt;その他の修正&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現況と課題の2点目において、より具体的な表現とするため、「災害時に特別な配慮が必要な人の避難を支援する体制」から「災害時に特別な配慮が必要な人へ水や食料、物資などを提供できる備蓄の体制」に修正しました。</li> <li>・施策の方向「2. 防災・減災体制の強化」において、施策の内容を考慮し、再検討を行い、重点施策の位置付けを施策「1. 避難支援体制の強化」から施策「2. 情報通信体制の強化」に変更しました。</li> </ul>		安全安心課
	5. 防犯・交通安全対策の推進 (防犯・交通安全)	現況と課題にもあるので、指標に「免許返納者数」を設定したらどうか。	高齢者の事故が多いという現状もありますので、高齢者の運転免許証の自主返納を推進することは重要であると考えておりますが、目標指標としては各世代に関わる交通安全の啓蒙周知活動を目標値としたいため、修正等は行わないことといたします。	安全安心課
		警察に協力いただき「自転車の違反切符数」を設定したらどうか。	桐生警察署に確認したところ、自転車の違反切符数については公表しておらず、市としては把握ができないため、目標指標とすることは難しいと考えます。	
6. 消費者保護対策の充実 (消費者保護)	詐欺に関する市民相談室への相談件数を明記できないか。	現況と課題において、4行目「架空請求が」の後に「2016年度では137件、2017年度では380件と」を追記しました。 また、本項は主に消費生活センターの業務に関する項であり、6章2項「広報・広聴の充実」に位置付ける市民相談業務との区別を明確にするため、基本方針の2行目「育成することを目指し、」の後に「桐生市消費生活センターを中心に」を追記しました。	市民生活課	
	相談員の充実など相談体制についての指標は設定できるか。	相談員の充実につきましては、その資質向上、体制強化を図るため、国民生活センターや県が主催する研修会へ積極的に参加しておりますが、年ごとに研修内容や回数が変動するため目標値の設定は難しいものと考えます。		

章	項（施策分野）	委員意見		担当課
		検討を要する意見	対応	
4. 教育・文化の向上  (教育、生涯学習、芸術・文化、スポーツ)	1. 学校教育の充実  (幼児教育・義務教育・高等学校教育)	<p>&lt;その他の修正&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・項全体の目標指標である「「特色ある教育活動」の保護者評価において(4段階中A又はBを選択)」について、より適切な表現として「「特色ある教育活動」が行われていると感じる保護者等の割合」に修正するとともに、基準値の精査を行い、目標値を見直しました。</li> <li>・目標指標「生徒の授業に対する満足度」について、より適切な表現として「児童・生徒の授業に対する満足度」に修正するとともに、基準値の精査を行い、目標値を見直しました。</li> <li>・目標指標「生徒の進路実現に対する満足度」について、より適切な表現として「将来や進路について主体的に考えている児童・生徒の割合」に修正するとともに、基準値の精査を行い、目標値を見直しました。</li> </ul>		学校教育課
	3. 教育研究の推進  (教育研究)	働き方改革の観点からも、指標「教職員を対象とした各種研修講座」は10講座も必要なのか。また、「桐生の特徴を生かした授業」づくりを勉強できるなど、講座の中身を充実させるのはいかがか。	教職員を対象とした研修講座の中身を充実させるのはいかがかとのご意見を受けまして、研修講座の満足度を指標として研修の目標及び成果を把握していきたいと考え、「教職員を対象とした各種研修講座」に変えて、研修講座後のアンケート調査による「教職員を対象とした各種研修講座の満足度」を目標指標に設定することとしました。また、項全体の指標として「教職員を対象とした各種研修講座受講者数」を設定していましたが、見直した「各種研修講座数」と内容が重複するものより、こちらは削除することといたしました。なお、今後の研修講座数につきましては、教職員の負担とならないよう、適正な実施数について検討してまいりたいと考えております。	学校教育課
	4. 生涯学習の推進  (生涯学習)	<p>&lt;その他の修正&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施策の方向「1. 生涯学習の充実」の施策「3. 地域連携の推進」について、6章7項「地域連携の推進」内の施策名称と重複していることから、適切な表現として「3. 学校・地域との連携の推進」に修正しました。</li> <li>・目標指標「市内公民館の市民1人あたりの年間利用回数」について、基準値に誤りがあったため修正するとともに、改めて、目標値について設定し直しました。</li> </ul>		生涯学習課
	5. 芸術・文化の振興  (芸術・文化)	指標「市民文化会館入館者数」はイベントに依存すると思われる。「稼働率」も重要だと思うのがいかがか。	ご意見を踏まえ、新たに目標指標として「市民文化会館稼働率」を設定しました。「入館者数」と「稼働率」を合わせて、市民文化会館の運用状況について補完し合う目標指標の設定としました。なお、目標指標「市民文化会館入館者数」の基準値に誤りがありましたので修正しました。	生涯学習課